



11月9日は『119番の日』です



自治省（現：総務省）消防庁が昭和62年に、11月9日は「119番の日」として制定しました。「119番の日」は消防の仕事や119番通報についての正しい知識と理解を深めていただき、防災意識の高揚を図ることを目的としています。

令和5年に下北消防本部通信指令課で受付した119番の件数は4354件となっています。消防隊や救急隊が一刻も早く災害現場に到着するためには、住所や災害の内容などの正しい通報が必要となります。

あなたも通報する場面にいつ遭遇するかわかりません。一刻一秒を争う時でも落ち着いて119番通報できるように、正しい通報要領を身につけましょう。

◆災害通報は119番通報を！！◆

火事や救急発生時に119番通報ではなく地元の消防署や消防分署の加入電話に通報される場合があります。

地元の消防署や消防分署に直接通報したほうが、早く来てもらえるとお考えかもしれませんが、専属で対応する通信指令課に比べ、出動する隊員が電話対応するなど、出動準備が遅くなります。

いち早く消防車両が出動するためにも、119番に通報をしていただきますようご協力をお願いします。



◆間違って119番してしまったら・・・◆

通信指令課では、119番に着信があり、すぐに切れた場合や無言だった場合などは通報があった電話番号に、必ず電話をかけて確認します。確認の電話に回答がないときは、通報者が急病である可能性を考え、契約者情報を照会し、救急車で確認に向かいます。間違えて119番にかけてしまった場合は、消防からの確認の電話に出て「間違いです。」と伝えていただきますようお願いいたします。

また、スマートフォンの普及とともに、「勝手に119番にかかってしまった。」という方が増加しています。画面にロックをかけるなどして対策するよう併せてお願いします。





119番通報の正しいかけ方

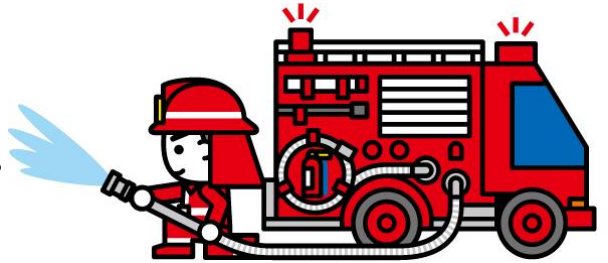


119番通報は落ち着いて、ゆっくりとはっきりと伝えましょう。自分が一方的に話すのではなく、聞かれたことに正確に答えていくことが上手に通報するコツです。

◆119番通報のポイント◆

① 火災、救急のうちどれか

- 最初に火事、救急のうちどれかを伝える。



② 場所はどこか

- 場所がはっきりわからない時は目標物になるものを伝える。
- 家であれば住所、世帯主を伝える（屋号、通称は使わない。又、集落名や地区名を伝えるのではなく、正確な住所を伝える）

③ 状況の把握

- 火災であれば、どこの何が燃えているか。逃げ遅れやけが人はいるか。
- 救急であれば、けが人の年齢や状態、意識・呼吸の有無。

④ 通報者の名前と電話番号

- 最後に通報者の名前とかけている電話の電話番号を伝える。

★火事の通報例★



通信指令員	通報者
はい、119番です。火事ですか、救急ですか。	火事です。
消防車が向かう場所はどこですか。	〇村大字〇字〇12番地12。消防太郎の家です。
どこの何が燃えていますか。	2階寝室のふとんが燃えています。
逃げ遅れ、けが人はいませんか。	いません。
あなたのお名前と電話番号を教えてください。	消防花子です。電話番号は12-3456です。
消防車の誘導をお願いします。	はい、わかりました。

★救急の通報例★



通信指令員	通報者
はい、119番です。火事ですか、救急ですか。	救急です。
救急車が向かう場所はどこですか。	〇村大字〇字〇12番地12。消防太郎の家です。
誰がどうしましたか。	〇〇(誰)が倒れました。年齢は70歳です。
意識、呼吸はありますか。	意識も呼吸もあります。
あなたのお名前と電話番号を教えてください。	消防花子です。電話番号は12-3456です。
救急車の誘導をお願いします。	はい、わかりました。

☆あなたが通報している場所に火や煙などの危険が迫っている時には、すぐに避難しましょう。